



平成 24 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ェ ヴ リ ナ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 神 代 亜 紀
(コード番号 3726 東証マザーズ)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 部 長 堀 川 大 輔
(TEL. 092-720-5420)

継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期の決算短信及び有価証券報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することといたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、2 期連続で売上高が著しく減少し、かつ、当事業年度において 261,057 千円の営業損失を計上することとなりました。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善するため、以下の施策に取り組んでおります。

(1) 中期事業計画を策定し、来期以降は営業力の強化による売上の回復を目指しております。中期事業計画の主な内容は以下のとおりです。

- ① 販売チャネルの増加や WEB マーケティング強化などによる新規顧客の拡大
- ② 顧客ターゲット層を明確化し、広告宣伝戦略とのマッチング
- ③ カスタマーフレンド（販売担当者）の増加による再販売上の拡大
- ④ 紙媒体の宣伝の拡大や WEB 売上割合増加による広告宣伝費の削減

(2) 企業価値及び株主利益の更なる向上を図ることを目的として、重要な後発事象に記載のとおり、株式会社ソフトエナジーホールディングスとの経営統合をいたします。

しかしながら、当社をとりまく環境は、市場がほぼ成熟しているなか、他業種からの新規参入や低価格化など、依然として厳しい状況が続いており、さらに、株式会社ソフトエナジーホールディングスは、リチウムイオン電池に係る充放電検査装置におけるエンジニアリング事業を主要な事業としており、今後大きな成長が期待できる分野ではありますが、海外企業との価格競争、新エネルギーの台頭による急激な受注減など経営環境が激変する可能性もあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

以 上